



2011年11月

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

ASO(閉塞性動脈硬化症)とフットケアについて

名古屋共立病院 心臓血管外科 医長 古橋 究一

フットケア外来を始めて5年以上が経過しました。毎年この時期より徐々に寒くなり、毎年経験することがあります。

今回皆さんにお伝えしたいことを単純に言えば、

"寒いから、冷たいからといって不用意に足をこたつに入れたり、“あなか”や湯たんぽを使ったりしながら寝ないでください"

"痛くないからといって、あしは大丈夫と過信しないでください"

ということです。



キーワードは **“あしの血のめぐり”** **“あしの感覚”** **“あしのかたち(変形)”**です。

どういふことなんだろう？と感じた方も多いでしょう。では私は何を経験し、単純にこのことを皆さんに伝えているのでしょうか。

このことを踏まえて、

- ①自分の病状を理解すること
- ②自分の足に留意すること
- ③自分の足を保護すること



の順に下肢を保護していくことの重要性をお話しします。